

Angle アングル



26年ぶりの新消防団長 杉本 和男さん (御宿入谷・73歳)

4月1日(日)に市民体育館で市消防団辞令交付式が行われ、26年ぶりに団長の交代がありました。今回団長に就任したのが杉本さん。昭和41年に消防団員になり通算37年。その間、富岡分団長、第三方面隊長、本部長、副団長を歴任しました。

結婚を機に家業を継ぐことが決まり、日中も地元

で働いているため、区からの依頼で入団しました。

「当時は消防署がなかったため、火災が発生するといち早く現場に駆けつけ、現場や周辺の状態を調査し安全第一に効率よく消火活動を進めなければならず、消防団に係る責務は今より大きかったです」と語ります。分団長を任された4年間は特に思い出が多く、富岡分団詰所の移転、ポンプ車の入れ替えや下和田班詰所の建設など大きな事業を抱えていました。一方、当時青年会議所の事務局長も務めており、「寝る間もなく働きました」と当時を語ってくれました。

「消防団はボランティア活動の最たるものです。団員の確保には苦慮していますが、日夜訓練や消火活動、その他の防災活動に体を張って活動してくれる若者たちがいます。それぞれ仕事や家庭と両立しながらの活動しているため、役割や活動時間帯の分担などを考慮し、活動しやすい環境を整えていくことが自分に与えられた役割です。また、時代のニーズがめまぐるしく変わっていく中、代謝の良い組織としていくことも必要です」と語る杉本さんでした。



市民文化センターNAVI

5月の休館日

1日(火)・7日(月)・21日(月)

☎ 993-9300

平原綾香 15th Anniversary CONCERT TOUR 2018 ～ Dear Music ～

と き / 7月14日(土) 17時30分～ ※開場▶17時

ところ / 大ホール

料 金 / 全席指定 6,800円(税込)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

発売日 / 好評発売中



富士の彩る 裾野を

富士山資料館

☎ 998-1325



須山浅間神社と神輿

「おみこし」は、神霊が本社から他所に渡御する際の乗り物で、神輿とも呼ばれます。記録によると、749年宇佐八幡を東大寺に迎えるときに用いた紫色の贊輿が最初とされています。

左下の写真は、富士山資料館に展示されている須山浅間神社のもので、1860年に製作され、1967年まで使われていた2基のうちの1基です。

右下の古文書は、1806年に須山浅間神社の神輿製作にあたり、江戸日本橋の大仏師法橋森祐雲から依頼者の渡邊隼人宛てに出された仕様書です。これには、全体のおおきさ・部品の寸法・木材の材質・彫り物の内容・漆の色・金箔を用いる部分・飾り物の種類・鏡や鈴の数、それぞれの価格などが記載されています。

神輿

覚

昔も神輿の製作には莫大な費用がかかりました。



(富士山資料館展示品)



(渡邊家文書)

